

- 1 第一級及び第二級アマチュア無線技士の「法規」の試験問題数、合格点及び試験時間を次のとおり変更します。

	試験問題数	合格点／満点	試験時間
変更案	30	105／150	2時間30分
現行	25	87／125	2時間

- 2 第一級及び第二級アマチュア無線技士の国家試験の「法規」において、モールス符号の理解度を確保するための試験問題例（イメージ）は、次のとおりです。

<既存の「運用（一般通信方法）」等の問題文中において理解度を確保する問題例>

例 1

問題 次の記述は、アマチュア局がモールス無線電信で通報を長時間送信するとき遵守しなければならない事項について述べたものである。無線局運用規則（第 12 条及び第 30 条）の規定に照らし、内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の 1 から 4 までのうちから一つ選びなさい。

アマチュア局は、長時間継続して通報を送信するときは、 A を標準として適当に  B を送信しなければならない。

- |   | A      | B                      |
|---|--------|------------------------|
| 1 | 10 分ごと | — . . . の符号及び自局の呼出符号   |
| 2 | 10 分ごと | — . — . . の符号及び自局の呼出符号 |
| 3 | 30 分ごと | — . . . の符号及び自局の呼出符号   |
| 4 | 30 分ごと | — . — . . の符号及び自局の呼出符号 |

例 2

問題 次の記述は、モールス無線電信による送信中の誤りの訂正及び送信した通報を反復して送信するときの方法について述べたものである。無線局運用規則（第 12 条、第 31 条及び第 33 条）の規程に照らし、内に入れるべき最も適切な符号の組合せを下の 1 から 4 までのうちから一つ選びなさい。

①送信中において誤った送信をしたことを知ったときは、次に掲げる略符号を前置して、正しく送信した適當の語字からさらに送信しなければならない。

(1) 手送による和文の送信の場合は、 — ·

(2) 自動機（自動的にモールス符号を送信又は受信するものをいう。）による送信

及び手送による欧文の送信の場合は、 A

②送信した通報を反復して送信するときは、1 文字若しくは 1 語ごとに反復する場合又は略符号反復する場合を除いて、その通報の各通ごと又は 1 連続ごとに

「 B」を前置するものとする。

	A	B
1	· · · · · · · · · ·	· — · · — — · —
2	· — · — ·	· — — — · — ·
3	· · · · · · · · · ·	· — — — · — ·
4	· — · — ·	· — · · — — · —